

県内経済の動き

概況

〔2024年11月～2025年1月の動き〕

物価上昇下でも緩やかに回復している

鉱工業生産指数（11月）は2カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（12月 細島港）は4カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は2カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（12月）は6カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（12月）は前月比横ばいの1.31倍で、1月の企業倒産は前月比1件増の5件、負債総額は同22百万円増の3億98百万円となった。

百貨店・スーパー販売や自動車販売の増加等、個人消費の底堅さなどを背景に県内経済は緩やかに回復している。春季スポーツキャンプシーズンの到来で、観光・宿泊業界では景気の先行きに対する期待感が高まる。